

一四 看護婦規則制定以前の看護婦

養成の実情について……………平尾真智子(慈恵看護学校)

一五 太政官日誌から見た戊辰戦争…奥沢 康正(京都市)

—幕末維新の衛生史考— 安部 達也(京都市)

一六 野口英世箕面銅像の建立経緯…石原 理年(京都市)

特別講演

戦国武将の病氣と性格……………協田 修(大阪大学)

閉会のことば……………杉立 義一

例会記録

一月例会 平成二年一月二十日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 灸寺・粟生病院訪問記

—灸・漢方薬で精神科疾患を治療— 岡田 靖雄

二 済生学舎の歴史について 唐沢 信安

二月例会 平成二年二月二十四日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 「かぜ」の話 蔵方 宏昌

二 一乗谷朝倉氏遺跡出土の古医書焼片について 真柳 誠・小曾戸 洋

三月例会 平成二年三月十七日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 日本占領下のフィリピン薬用植物研究 津谷喜一郎

二 慶應義塾大学の食養研究所の生涯 大村 敏郎

五月例会 平成二年五月二十日(日)

順天堂大学有山記念講堂

(五月の例会は浅田宗伯生誕一七五〇年に振りかえり)

浅田宗伯生誕一七五〇年祭

主催 浅田宗伯生誕一七五〇年祭実行委員会

一 奥田多門と浅田宗伯その他 矢数 道明

二 浅田宗伯先生の門人指導の方法 長谷川弥人

三 浅田流漢方について 坂口 弘

例会抄録

中国における欠歯の風習について

戸出 一郎

医療以外の目的で歯を抜く行為を、医療と区別するために、抜歯という用語を避け、欠歯と呼ぶ。

中国大陸では、解放後、各地で遺跡の発掘が行われ、それに伴って欠歯の事例が多数発見された。

遺跡の主な所在地は、山東省の泰安大汶口、曲阜西夏侯、兗州王因、鄒縣野店、膠縣三里河、江蘇省邳縣大墩子、福建省閩侯縣石山、広東省增城金蘭寺、湖北省房県七里河等での分布範囲は黄河下流、淮水下流、長江中下流、珠江下流、華南地方のほとん

ど中国全域に広がっている。

時代的には、大汶口文化初期、すなわち紀元前四五〇〇年頃から中期にわたってもっとも盛んであるが、大汶口文化晩期から急速に減少し、崑山文化期になると次第に消滅してゆく。その後の時代のものでは、山東省城子崖における戦国時代の墓葬から発掘された、成年男子五体の右側上顎側切歯の抜去例が報告されているが、他には信ずるに足る報告はない。しかし文献によれば、この風習は一部の民族によって引きつがれ、近代まで続いていたようである。

欠歯の実状は、性別では男女共に高率に現れ、年齢は幼少年期には見られず、十四歳前後の成人期に行われている。

欠歯部位はほとんどの例（四五二例中四〇二例）が両側上顎側切歯である。これは、我国縄文時代の複雑な欠歯様式とは著しく異なるものである。

有史時代になると、前記の戦国時代の例を除いては、すべて文献に見られるのみである。文献は周秦時代の作といわれる『山海經』を初めとして、近代清朝期に至る各時代に存在する。これらの文献によれば、欠歯を行う民族は、初め僚と呼ばれ、後に仡佬、さらに、打牙仡佬と呼ばれる民族である。打牙仡佬における欠歯の風習は、十九世紀半ばまでは結婚に伴う風習として存在したが、それ以後は完全に廃れてしまった。

欠歯の部位はほとんどが両側上顎側切歯であるため、それから欠歯の意義を推察することはできないが、実施の年齢が成人期であること、男女とも高率に行われていることに基き、また後代の

文献を参照して考察すれば、欠歯は成人式又は婚姻儀礼の一環として行われたものと考えられる。なお文献によれば、服喪の儀礼としても行われることがあったようである。

（平成元年十一月例会）

済生学舎の歴史について

唐沢 信安

済生学舎がなぜ「廃校」になったかについては、今日大きな謎を残している。また、済生学舎が、現在の日本医科大学の源流になっている事もあまり知られていない。

済生学舎は、明治九年四月九日、長谷川泰によって創立された医術開業試験のための医学校である。泰の師である順天堂の佐藤尚中の遺志である洋方医の早期養成を受け継いで、多くの医家を世に送った。その中で、野口英世や吉岡弥生等の学者や指導者がこの学校の出身者となっている。

また、済生学舎が廃校になったのは、長い間の東大赤門派閥の指導者との闘争史であった事を忘れてはならない。

明治二十三年頃になると、森鷗外や青山胤道（後の東京帝国大学医科大学学長）等が会談して済生学舎の教育を批判痛罵するようになる。それは森鷗外の『医育論』の中で見る事ができる。

次いで、明治三十一年の暮より三十二年の春にかけて「医師会法案事件」なる物が起った。全国の開業医四万人が、自らの権利と品位の向上を求めて、大日本医会を通じて国会に医師法案なる